

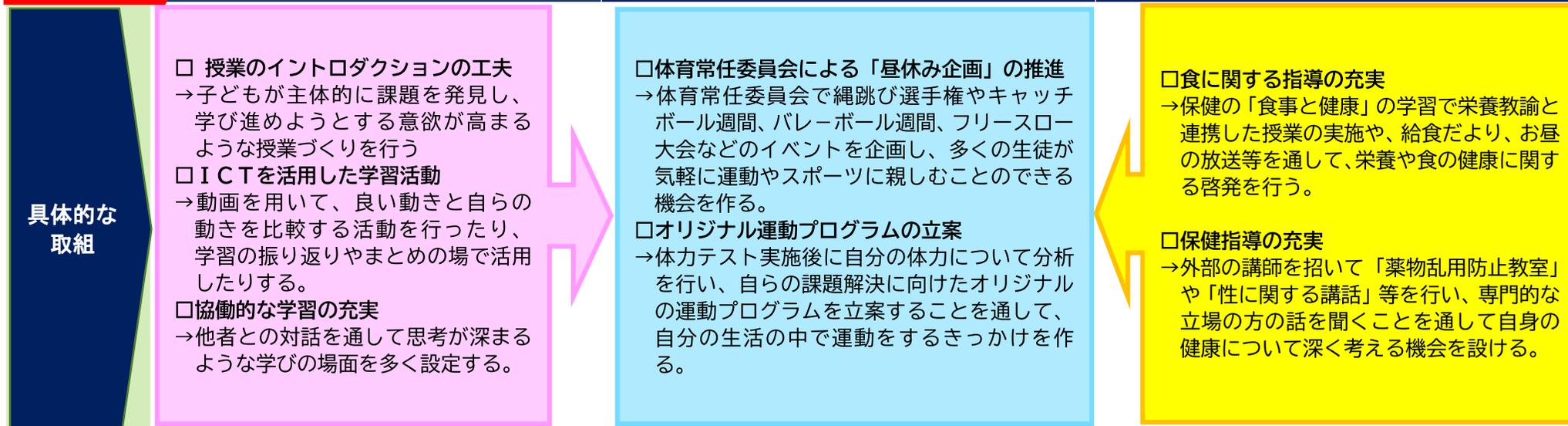
令和7年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：33006

学校名：明園中学校

	令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	前回の記録を上回った種目 握力、反復横跳び、ハンドボール投げ 前回の記録を下回った種目 上体起こし、長座体前屈、立ち幅跳び 20mシャトルラン、50m走	全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている種目 長座体前屈、反復横跳び、ハンドボール投げ 全国平均を下回っている種目 上体起こし、20mシャトルラン、50m走 立ち幅跳び	男子・女子ともに反復横跳びでは全国平均と同程度であり、瞬発力はあると考えられる。しかし、50m走では男子・女子ともに全国平均・全市平均を大きく下回っている。よって、敏捷性などの疾走能力に大きな課題があると考えられる。
体力・運動能力 <女子>	前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力、上体起こし、ハンドボール投げ 前回の記録を下回った種目 長座体前屈、立ち幅跳び、反復横跳び 20mシャトルラン、50m走	全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている種目 握力、長座体前屈、20mシャトルラン 全国平均を下回っている種目 50m走、立ち幅跳び、	運動やスポーツが好きという生徒は8割超であるが、1週間の総運動時間が0分の生徒が男子13.8%（全国7.5%）女子17.6%（全国16.6%）おり、運動を全くしない生徒の運動習慣づくりが課題である。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	運動やスポーツが好き・やや好き 男子 95.2% 女子 71.7% （全国平均 男子 90.6% 女子 76.9%）	保健を学習して、もっと運動しようと思うようになった 男子 R5：33.3% → R6：45.2% 女子 R5：19.6% → R6：28.3% （R6：全国平均 男子 47.7% 女子 34.9%）	昨年度より保健を学習してもっと運動しようと思うようになった生徒の割合が増えているが、全国と比較すると低い。引き続き保健の学習を通して運動の必要性を感じられる工夫を行っていく必要がある。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
--------------	------------------------	------------------------------	----------------------------



家庭・地域との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の施設を使用してスケート学習を実施し、身近な場所で冬のスポーツに親しむきっかけをつくる。 ・冬季の運動量確保のために、生徒会企画の「雪かきボランティア」を小学校児童会と連携して実施する。 ・外部講師を招き、モルックやキンボールなどのニュースポーツに親しむ機会をつくる。
---------------------	---